

〈すしん〉景況レポート



No.36 2026年5月

CONTENTS

景気動向調査

2026年1～3月期実績、2026年4～6月期予想

特別調査 中小企業経営者のライフデザイン 5

- 事業者の10年先の経営展望は、「現状維持・横ばい」の回答が71.7%で最多
- 経営者が現役を続けたい年齢の「具体的な目途がある」と回答した方のうち、「65～69歳」まで現役を続けたいと考えている方が36.8%で最多
- 経営者を引退した後の生活資金について、「貯蓄・資産がすでに十分にある」と回答した方は全体の19.9%
- 経営者の資産管理・運用方法において、最も多かったものは「預貯金(円貨)」で全体の46.7%

地域をつなぎ、地域と共に歩む



須賀川信用金庫

景気動向調査






























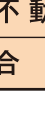




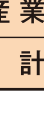




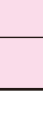
2026年1～3月期実績、2026年4～6月期予想

概況

業況判断DIは悪化、
来期は改善する見込み

今期の全業種業況判断DIは▲10.1と前期から3.8ポイント悪化した。製造業は同3.0ポイント悪化し▲9.2、卸売業は前期と変わらず0.0、小売業は同0.1ポイント改善し▲20.4、サービス業は同10.3ポイント悪化し▲6.1、建設業は同4.0ポイント悪化し▲12.0となった。

来期の全業種業況判断DIは▲3.6で、今期比6.5ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業で改善、不動産業で横ばいを見込んでいる。

業況DI	2025年 7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月 (予想)	方向
全体	 ▲17.6	 ▲6.3	 ▲10.1	 ▲3.6	
製造業	 ▲18.8	 ▲6.2	 ▲9.2	 ▲7.8	
非製造業	 ▲17.2	 ▲6.2	 ▲10.5	 ▲1.9	
卸売業	 ▲13.3	 0.0	 0.0	 7.2	
小売業	 ▲25.0	 ▲20.5	 ▲20.4	 ▲6.9	
サービス業	 ▲12.0	 4.2	 ▲6.1	 6.1	
建設業	 ▲18.4	 ▲8.0	 ▲12.0	 ▲10.0	
不動産業	 0.0	 20.0	 20.0	 20.0	

低調 ←      好調 →

調査要領

- 調査時期 2026年3月上旬～中旬
- 調査対象 須賀川・岩瀬地区・石川地区の当金庫取引先(法人・個人事業者)
- 調査方法 各営業店職員による聞き取り調査
- 分析方法 各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業の全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断DI)を中心として分析を行った。

	調査先	回答先	回答率
製造業	65	65	100.0%
卸売業	15	15	100.0%
小売業	46	44	95.7%
サービス業	50	49	98.0%
建設業	53	50	94.3%
不動産業	5	5	100.0%
合計	234	228	97.4%

全業種総合

●今期(1-3月)

業況判断・売上額・収益DIはいずれも悪化

今期の全業種業況判断DI(良い-悪い)は前期比3.8ポイント悪化し▲10.1となった。売上額DI(増加-減少)は同15.0ポイント悪化の▲9.2、収益DI(増加-減少)は同12.8ポイント悪化の▲9.2となった。

販売価格DI(上昇-下降)は同4.6ポイント低下の13.2、仕入価格DI(上昇-下降)は同4.7ポイント低下の28.2となった。在庫DI(過剰-不足)は同2.3ポイント上昇の2.8となった。

資金繰りDI(楽-苦しい)は同1.5ポイント改善の▲7.9となった。借入れを実施した企業の割合は9.3%であった。

雇用面では、人手DI(過剰-不足)は同6.1ポイント悪化の▲12.3となった。また、設備投資を実施した企業の割合は5.0%であった。

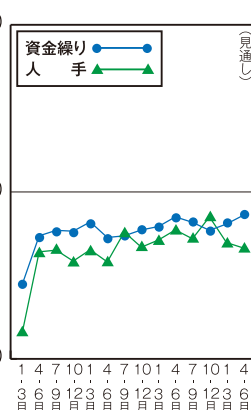
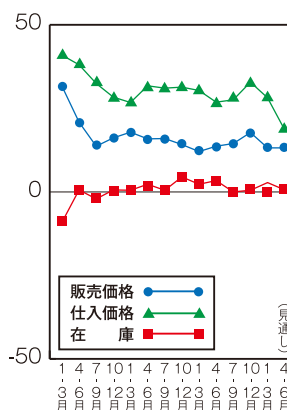
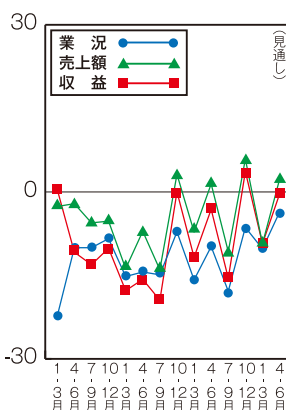
	2025年 7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月 (予想)	方向
業況判断	▲17.6	▲6.3	▲10.1	▲3.6	↗
売上額	▲10.6	5.8	▲9.2	2.2	↗
収益	▲15.3	3.6	▲9.2	▲0.4	↗
販売価格	14.5	17.8	13.2	13.2	→
仕入価格	27.6	32.9	28.2	18.6	↘
在庫	0.0	0.5	2.8	0.6	↘
資金繰り	▲7.5	▲9.4	▲7.9	▲5.8	↗
人手	▲11.4	▲6.2	▲12.3	▲13.6	↘

●来期(4-6月)

業況判断・売上額・収益DIはいずれも改善する見込み

来期の全業種業況判断DIは今期比6.5ポイント改善の▲3.6、売上額DIは同11.4ポイント改善の2.2、収益DIは同8.8ポイント改善の▲0.4を見込んでいる。

販売価格DIは今期と変わらず13.2、仕入価格DIは同9.6ポイント低下の18.6、在庫DIは同2.2ポイント低下の0.6を見込んでいる。



製造業

●今期(1-3月)

業況判断・売上額・収益DIはいずれも悪化

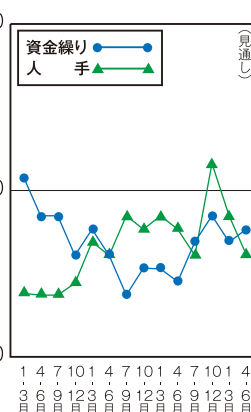
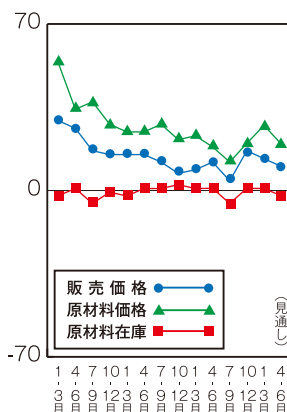
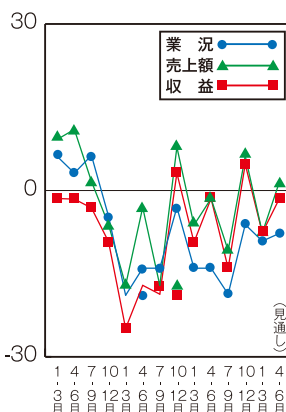
今期の業況判断DIは前期比3.0ポイント悪化し▲9.2となった。売上額DIは同13.9ポイント悪化の▲7.7、収益DIは同12.4ポイント悪化の▲7.7となった。販売価格DIは同3.3ポイント低下の13.9、原材料価格DIは同7.4ポイント上昇の27.7、原材料在庫DIは同0.1ポイント低下の1.5となった。資金繰りDIは同3.1ポイント悪化の▲6.2となった。借入れを実施した企業の割合は9.2%であった。雇用面では、人手DIは同6.2ポイント悪化の▲3.1となった。また、設備投資を実施した企業の割合は4.5%であった。

	2025年 7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月 (予想)	方向
業況判断	▲18.8	▲6.2	▲9.2	▲7.8	↗
売上額	▲10.9	6.2	▲7.7	1.5	↗
収益	▲14.1	4.7	▲7.7	▲1.5	↗
販売価格	4.7	17.2	13.9	10.7	↘
原材料価格	12.5	20.3	27.7	20.0	↘
原材料在庫	▲4.7	1.6	1.5	▲1.5	↘
資金繰り	▲6.2	▲3.1	▲6.2	▲4.7	↗
人手	▲7.8	3.1	▲3.1	▲7.7	↘

●来期(4-6月)

業況判断・売上額・収益DIはいずれも改善する見込み

来期の業況判断DIは今期比1.4ポイント改善の▲7.8、売上額DIは同9.2ポイント改善の1.5、収益DIは同6.2ポイント改善の▲1.5を見込んでいる。販売価格DIは同3.2ポイント低下の10.7、原材料価格DIは同7.7ポイント低下の20.0、原材料在庫DIは同3.0ポイント低下の▲1.5を見込んでいる。資金繰りDIは同1.5ポイント改善の▲4.7、雇用面の人手DIは同4.6ポイント悪化の▲7.7となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は13.4%であった。



経営上の問題点

原材料高	25.0%
利幅の縮小	18.0%
売上の停滞・減少	16.4%

当面の重点経営施策

販路を広げる	30.6%
経費を節減する	24.0%
機械化を推進する	10.7%
人材を確保する	

非製造業 ※不動産業は、調査対象先が少ないため業種ごとのDIは掲載しておりません。

●卸売業

●今期 (1-3月)

業況判断DIは横ばい、売上額・収益DIは悪化

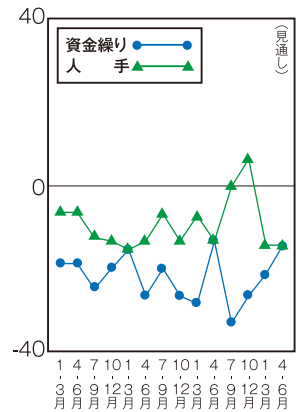
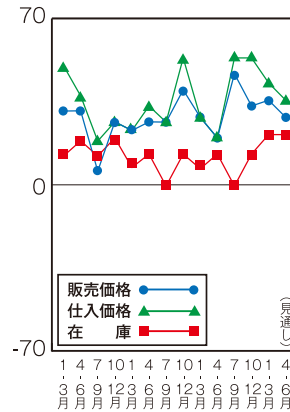
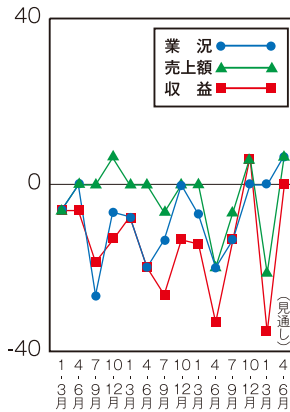
今期の業況判断DIは前期と変わらず0.0となった。売上額DIは同28.1ポイント悪化の▲21.4、収益DIは同42.4ポイント悪化の▲35.7となった。販売価格DIは同2.4ポイント上昇の35.7、仕入価格DIは同10.4ポイント低下の42.9、在庫DIは同8.1ポイント上昇の21.4となった。資金繰りDIは同5.3ポイント改善の▲21.4となった。借入れを実施した企業の割合は14.3%であった。雇用面では、人手DIは同21.0ポイント悪化の▲14.3となった。また、設備投資を実施した企業は無かった。

	2025年 7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月 (予想)	方向
業況判断	▲13.3	0.0	0.0	7.2	↗
売上額	▲6.7	6.7	▲21.4	7.2	↗
収益	▲13.4	6.7	▲35.7	0.0	↗
販売価格	46.7	33.3	35.7	28.6	↘
仕入価格	53.3	53.3	42.9	35.7	↘
在庫	0.0	13.3	21.4	21.4	→
資金繰り	▲33.3	▲26.7	▲21.4	▲14.3	↗
人手	0.0	6.7	▲14.3	▲14.3	→

●来期 (4-6月)

業況判断・売上額・収益DIはいずれも改善の見込み

来期の業況判断DIは今期比7.2ポイント改善の7.2、売上額DIは今期比28.6ポイント改善の7.2、収益DIは同35.7ポイント改善の0.0を見込んでいる。販売価格DIは同7.1ポイント低下の28.6、仕入価格DIは同7.2ポイント低下の35.7、在庫DIは今期と変わらず21.4を見込んでいる。雇用面では、人手DIは今期と変わらず▲14.3となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業は無かった。



経営上の問題点

売上の停滞・減少	44.0%
同業者間の競争の激化	20.0%
利幅の縮小	8.0%
仕入先からの値上げ要請	

当面の重点経営施策

販路を広げる	50.0%
経費を節減する	18.2%
情報力を強化する	13.6%

●小売業

●今期 (1-3月)

業況判断DIは改善、売上額・収益DIは悪化

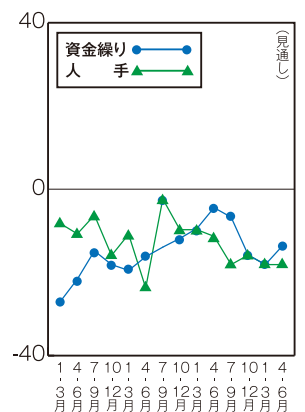
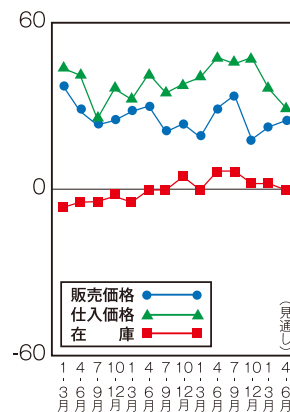
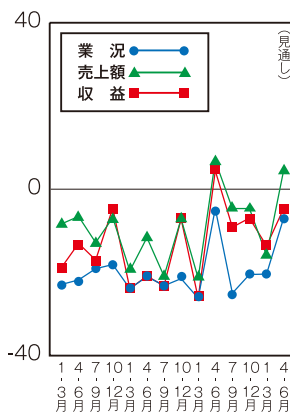
今期の業況判断DIは前期比0.1ポイント改善し▲20.4となった。売上額DIは同11.3ポイント悪化の▲15.9、収益DIは同6.7ポイント悪化の▲13.6となった。販売価格DIは同4.5ポイント上昇の22.7、仕入価格DIは同11.3ポイント低下の36.4、在庫DIは前期と変わらず2.3となった。資金繰りDIは同2.3ポイント悪化の▲18.2となった。借入れを実施した企業の割合は9.1%であった。雇用面では、人手DIは同2.3ポイント悪化の▲18.2となった。また、設備投資を実施した企業の割合は6.8%であった。

	2025年 7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月 (予想)	方向
業況判断	▲25.0	▲20.5	▲20.4	▲6.9	↗
売上額	▲4.6	▲4.6	▲15.9	4.6	↗
収益	▲9.1	▲6.9	▲13.6	▲4.6	↗
販売価格	34.1	18.2	22.7	25.0	↗
仕入価格	45.4	47.7	36.4	29.5	↘
在庫	6.8	2.3	2.3	0.0	↘
資金繰り	▲6.8	▲15.9	▲18.2	▲13.7	↗
人手	▲18.2	▲15.9	▲18.2	▲18.2	→

●来期 (4-6月)

業況判断・売上額・収益DIはいずれも改善の見込み

来期の業況判断DIは今期比13.5ポイント改善の▲6.9、売上額DIは同20.5ポイント改善の4.6、収益DIは同9.0ポイント改善の▲4.6を見込んでいる。販売価格DIは同2.3ポイント上昇の25.0、仕入価格DIは同6.9ポイント低下の29.5、在庫DIは同2.3ポイント低下の0.0を見込んでいる。雇用面では、人手DIは今期と変わらず▲18.2となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は7.0%であった。



経営上の問題点

売上の停滞・減少	20.9%
利幅の縮小	15.4%
人手不足	13.2%

当面の重点経営施策

経費を節減する	26.9%
宣伝・広告を強化する	12.8%
売れ筋商品を取扱う	11.5%

●サービス業

●今期 (1-3月)

業況判断・売上額・収益DIIはいずれも悪化

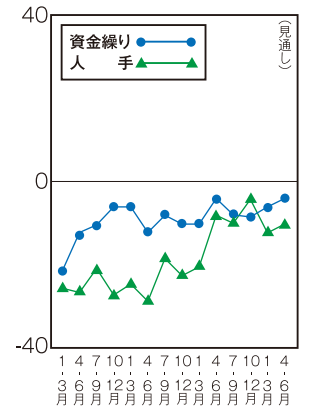
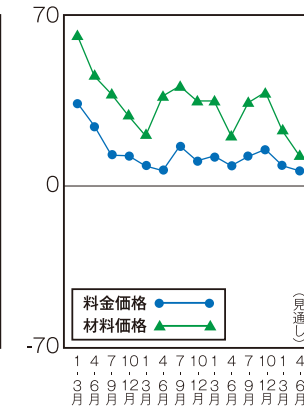
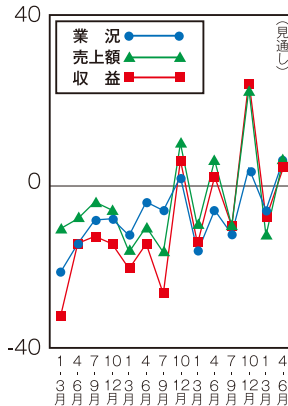
今期の業況判断DIIは、前期比10.3ポイント悪化の▲6.1となった。
 売上額DIIは同35.7ポイント悪化の▲12.3、収益DIIは同33.6ポイント悪化の▲8.1となった。料金価格DIIは同6.7ポイント低下の8.2、材料価格DIIは同15.9ポイント低下の22.4となった。資金繰りDIIは同2.4ポイント上昇の▲6.1であった。借入れを実施した企業の割合は2.0%であった。
 雇用面では、人手DIIは同8.0ポイント悪化の▲12.3となった。また、設備投資を実施した企業の割合は10.2%であった。

	2025年 7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月 (予想)	方向
業況判断	▲12.0	4.2	▲6.1	6.1	↗
売上額	▲10.0	23.4	▲12.3	6.1	↗
収益	▲10.0	25.5	▲8.1	4.1	↗
料金価格	12.0	14.9	8.2	6.1	↘
材料価格	34.0	38.3	22.4	12.2	↘
資金繰り	▲8.0	▲8.5	▲6.1	▲4.1	↗
人手	▲10.0	▲4.3	▲12.3	▲10.2	↗

●来期 (4-6月)

業況判断・売上額・収益DIIはいずれも改善する見込み

来期の業況判断DIIは今期比12.2ポイント改善の6.1、売上額DIIは同18.4ポイント改善の6.1、収益DIIは同12.2ポイント改善の4.1を見込んでいる。料金価格DIIは同2.1ポイント低下の6.1、材料価格DIIは同10.2ポイント低下の12.2を見込んでいる。
 雇用面では、人手DIIは同2.1ポイント改善の▲10.2となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は12.2%であった。



経営上の問題点	内容	割合
経営上の問題点	売上の停滞・減少	20.2%
	材料価格の上昇	16.0%
	人手不足	13.8%

当面の重点経営施策	内容	割合
当面の重点経営施策	経費を節減する	25.3%
	販路を広げる	24.2%
	宣伝・広告を強化する	20.9%

●建設業

●今期 (1-3月)

業況判断DIIは悪化、売上額・収益DIIは改善

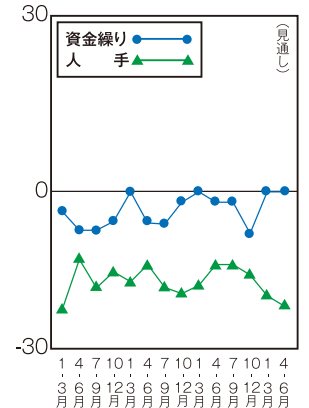
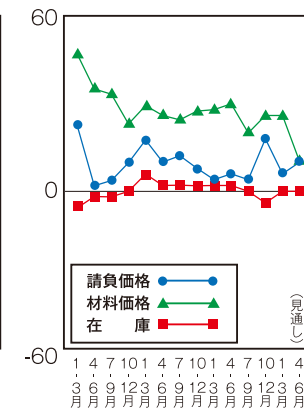
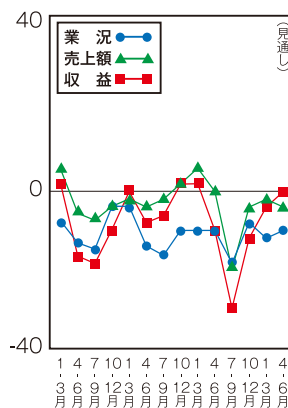
今期の業況判断DIIは、前期比4.0ポイント悪化の▲12.0となった。売上額DIIは同2.0ポイント改善の▲2.0、収益DIIは同8.0ポイント改善の▲4.0となった。請負価格DIIは同12.0ポイント低下の6.0、材料価格DIIは前期と変わらず26.0、在庫DIIは同4.0ポイント上昇の0.0となった。資金繰りDIIは同8.0ポイント改善の0.0となった。借入れを実施した企業の割合は12.0%であった。
 雇用面では、人手DIIは同4.0ポイント悪化の▲20.0となった。また、設備投資を実施した企業の割合は3.9%であった。

	2025年 7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月 (予想)	方向
業況判断	▲18.4	▲8.0	▲12.0	▲10.0	↗
売上額	▲20.0	▲4.0	▲2.0	▲4.0	↘
収益	▲30.0	▲12.0	▲4.0	0.0	↗
請負価格	4.0	18.0	6.0	10.0	↗
材料価格	20.0	26.0	26.0	10.2	↘
在庫	0.0	▲4.0	0.0	0.0	→
資金繰り	▲2.0	▲8.0	0.0	0.0	→
人手	▲14.0	▲16.0	▲20.0	▲22.0	↘

●来期 (4-6月)

業況判断・収益DIIは改善、売上額DIIは悪化する見込み

来期の業況判断DIIは今期比2.0ポイント改善の▲10.0、売上額DIIは同2.0ポイント悪化の▲4.0、収益DIIは同4.0ポイント改善の0.0を見込んでいる。請負価格DIIは同4.0ポイント上昇の10.0、材料価格DIIは同15.8ポイント低下の10.2、在庫DIIは今期と変わらず0.0を見込んでいる。
 雇用面では、人手DIIは同2.0ポイント悪化の▲22.0となる見込み。また、設備投資の実施を予定する企業の割合は7.8%であった。



経営上の問題点	内容	割合
経営上の問題点	材料価格の上昇	22.2%
	同業者間の競争の激化	19.4%
	売上の停滞・減少	17.6%
	人手不足	

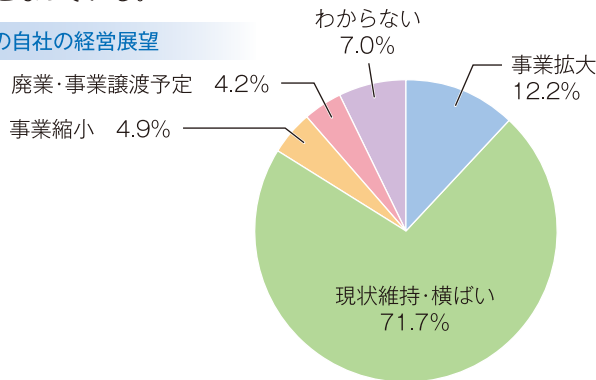
当面の重点経営施策	内容	割合
当面の重点経営施策	販路を広げる	25.5%
	人材を確保する	20.4%
	経費を節減する	17.3%

特別調査 中小企業経営者のライフデザイン

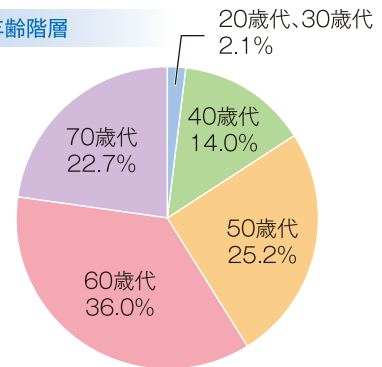
問1 社長(代表者)は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。また、現在の社長(代表者)の年齢階層をお答えください。

社長(代表者)が回答した10年先の経営展望については、「現状維持・横ばい」の回答が最も多く、全体の71.7%を占める結果となった。また、社長(代表者)の年齢階層で最も多かったのは「60歳代」で36.0%、それから「50歳代」が25.2%、「70歳代」が22.7%となっている。

10年先の自社の経営展望



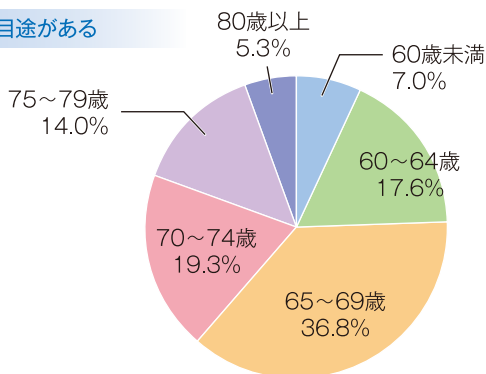
社長(代表者)の年齢階層



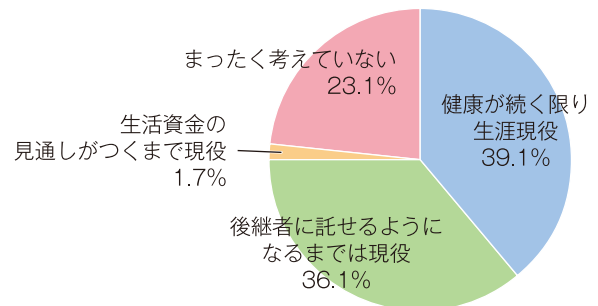
問2 社長(代表者)は、経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。具体的な年齢の目途がある方とそうでない方で、最も当てはまるものをお答えください。

経営者を続けていくうえで「具体的な年齢の目途がある」と答えた方のうち、「65~69歳」まで現役を続けたいと回答した方の割合が最も多く、全体の36.8%を占める結果となった。「具体的な年齢の目途はない」と答えた方では、「健康が続く限り生涯現役」と答えた方が39.1%、「後継者に託せるようになるまでは現役」と答えた方が36.1%となり、それぞれ高い割合を示した。

具体的な年齢の目途がある

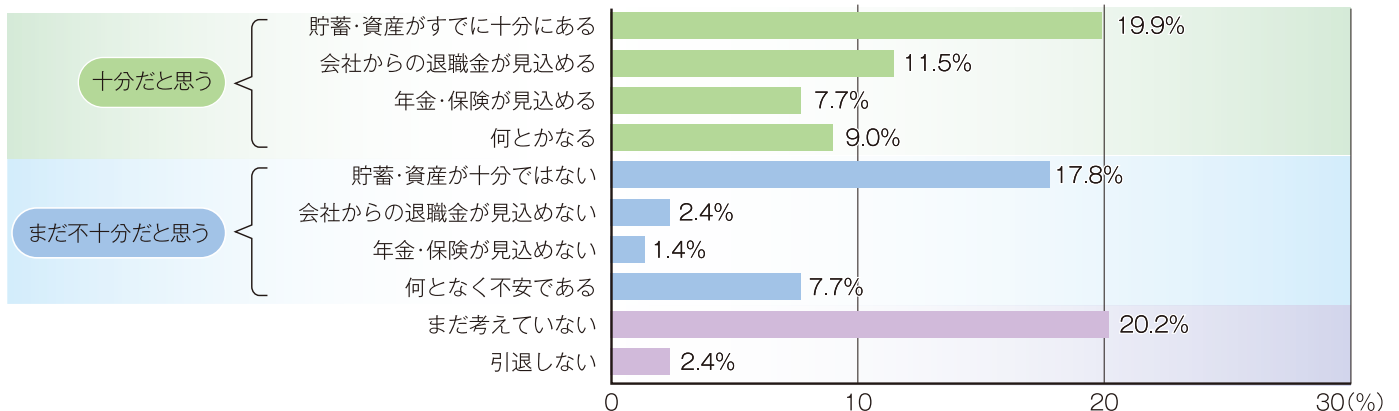


具体的な年齢の目途はない



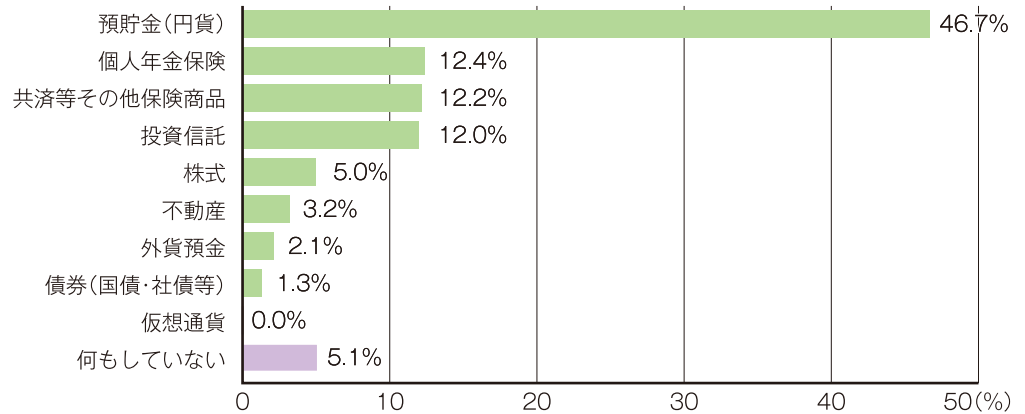
問3 社長(代表者)は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。

経営者を引退した後の生活資金については、「貯蓄・資産がすでに十分にある」と回答した方は19.9%となった。一方で、「貯蓄・資産が十分ではない」と回答した方は17.8%となった。また、「まだ考えていない」と回答した方は20.2%となった。



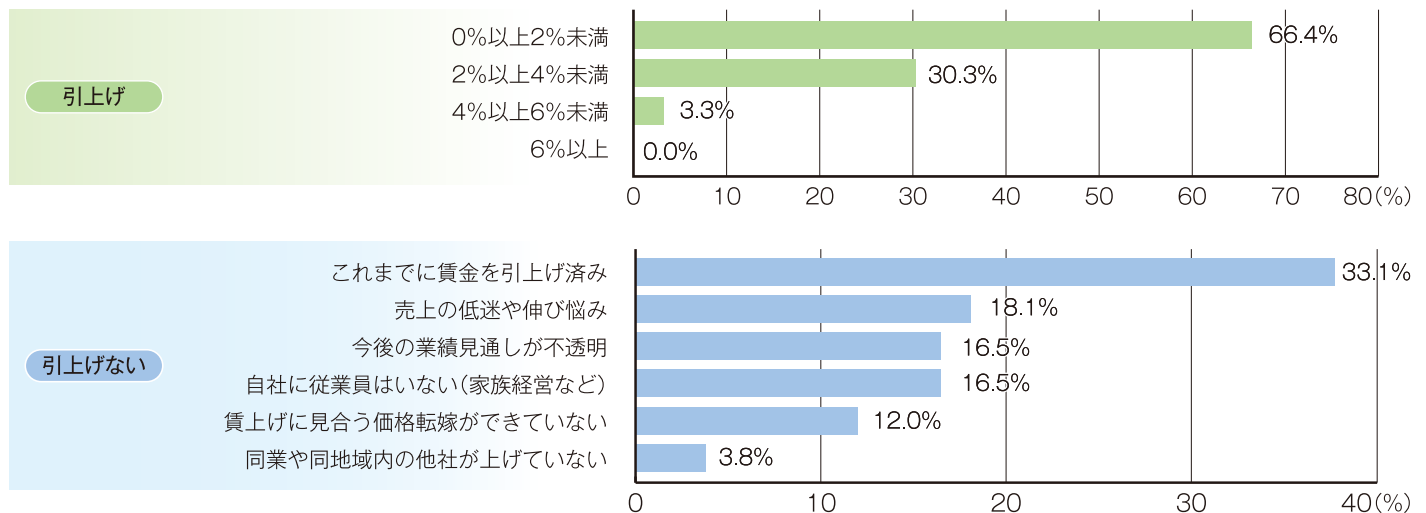
問4] 社長(代表者)は、個人としてどのような資産管理・運用をされていますか。

社長(代表者)の資産管理・運用において、最も多かった回答は「預貯金(円貨)」であり、全体の46.7%となった。預貯金以外での回答では、「個人年金保険」が12.4%、「共済等その他保険商品」が12.2%、「投資信託」が12.0%となっている。



問5] 貴社では、人材定着などに向けて、2026年中に賃金(定期昇給分除く、賞与や一時金除く)の上げを実施(実施予定を含む)しますか。上げる場合はその賃金上げ率についてお答えください。また、上げない場合はその理由についてお答えください。

2026年中に賃金を上げる事業者のうち、上げ率については「0%以上2%未満」とする回答が66.4%と最も多かった。賃金を上げない事業者については、「これまでに賃金を上げ済み」を理由とする回答が最も多く、33.1%を占めた。



須賀川信用金庫サックスキャンペーン

第2弾

特別優遇金利 定期積金

取扱期間

令和8年3月2日(月)～令和8年9月30日(水)

払込期間

3年または5年

払込金額

個人・個人事業主のお客さま

1万円以上

法人のお客さま

5万円以上

募集総額

30億円

年**1.00%** 個人・個人事業主のお客さまの場合
税引後年**0.79685%**

※募集総額に達した時点で取扱いを終了いたします。
※募集総額は定期積金の払込総額とし、給付補填金は含みません。

特別優遇金利定期積金〈商品内容〉

ご預金の種類	スーパー定期積金	適用金利	年1.00%
ご契約いただける方	<ul style="list-style-type: none"> 個人・個人事業主のお客さま 法人のお客さま 	中途解約時の取扱い	原則として中途解約はできません。やむをえず満期日前に解約する場合は次の①②の中途解約利率により利息相当額を計算し、この積金の掛金残高相当額とともに支払います。 <ol style="list-style-type: none"> ① 初回払込日から解約日までの期間が1年未満の場合 解約日の普通預金利率 ② 初回払込日から解約日までの期間が1年以上の場合 約定年利回り×60% (小数点第3位以下切捨て) ただし、解約日の普通預金利率を下限とします。
取扱期間	令和8年3月2日(月)～令和8年9月30日(水) ※募集総額に達した時点で取扱いを終了いたします。		
募集金額	30億円 募集総額は定期積金の払込総額とし、給付補填金は含みません。	税金	お利息には下記のとおり税金がかかります。 (非課税法人の場合を除きます。) <ul style="list-style-type: none"> ● 個人のお客さま: 20.315% (国税15.315%、地方税5%)の源泉分離課税 ● 法人のお客さま: 総合課税
払込金額	① 個人・個人事業主のお客さま 1万円以上 (千円単位) ② 法人のお客さま 5万円以上 (千円単位)		
払込期間	3年または5年	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 適用金利は、市場金利の動向により見直す場合があります。 ● 預金保険制度の付保対象商品です。 ● 満期日以後の利息(給付補填金)は、解約日における普通預金利率により計算します。 ● 詳しくは窓口または渉外担当者までお問い合わせください。
払込方法	原則、口座からの引落しでの払込み		

〈すしん〉景況レポート No.36

発行行：須賀川信用金庫
〒962-0054 福島県須賀川市牛袋町121-1
発行年月：2026年5月
編集：経営企画部 TEL 0248-75-3176

<https://www.sushin.co.jp>



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙に、「植物油インキ」を使用して印刷しました。